

第1回 水道料金等審議会 資料

# 大井上水道企業団水道事業の 概要と課題について

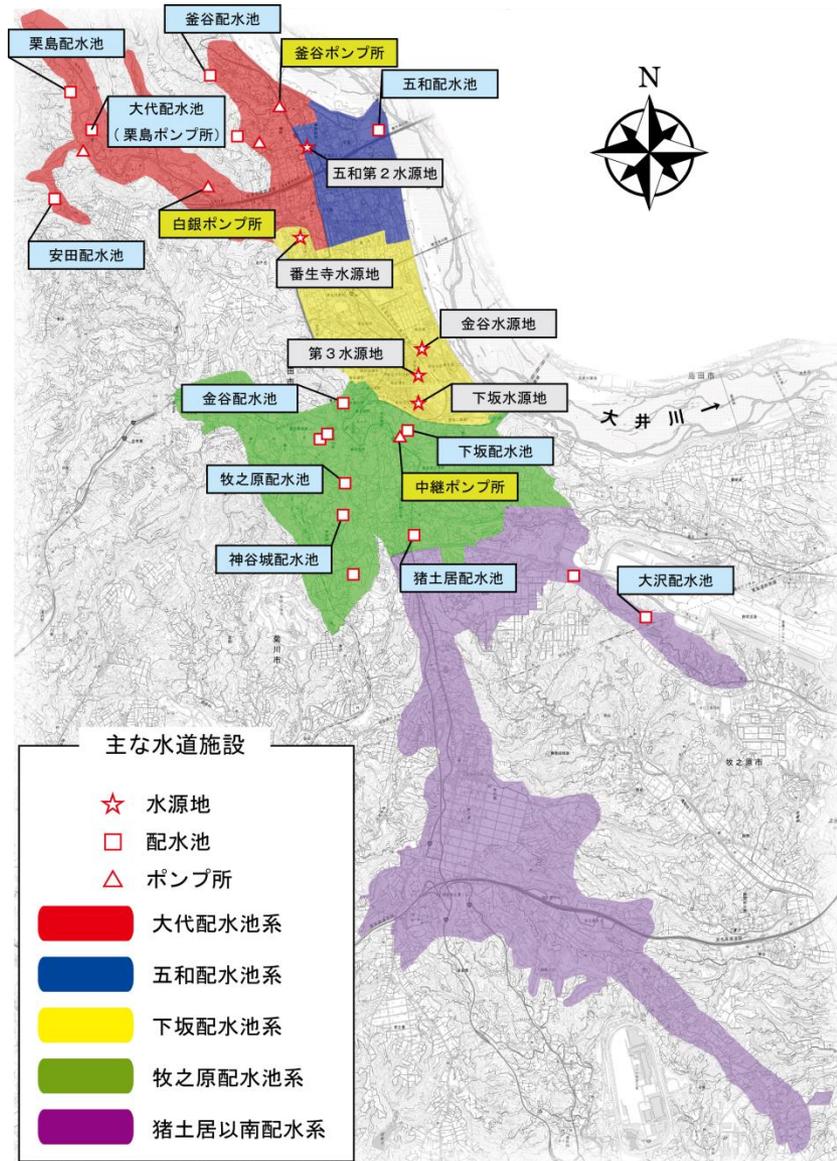
令和5年6月22日  
大井上水道企業団

# 目 次

- 1 水道事業の概要について
- 2 水道料金について
- 3 財政状況について
- 4 水道事業の経営課題について
- 5 財政収支の見通しについて
- 6 大井上水道企業団水道事業の経営課題のまとめ

# 1 水道事業の概要について

## (1) 施設概要

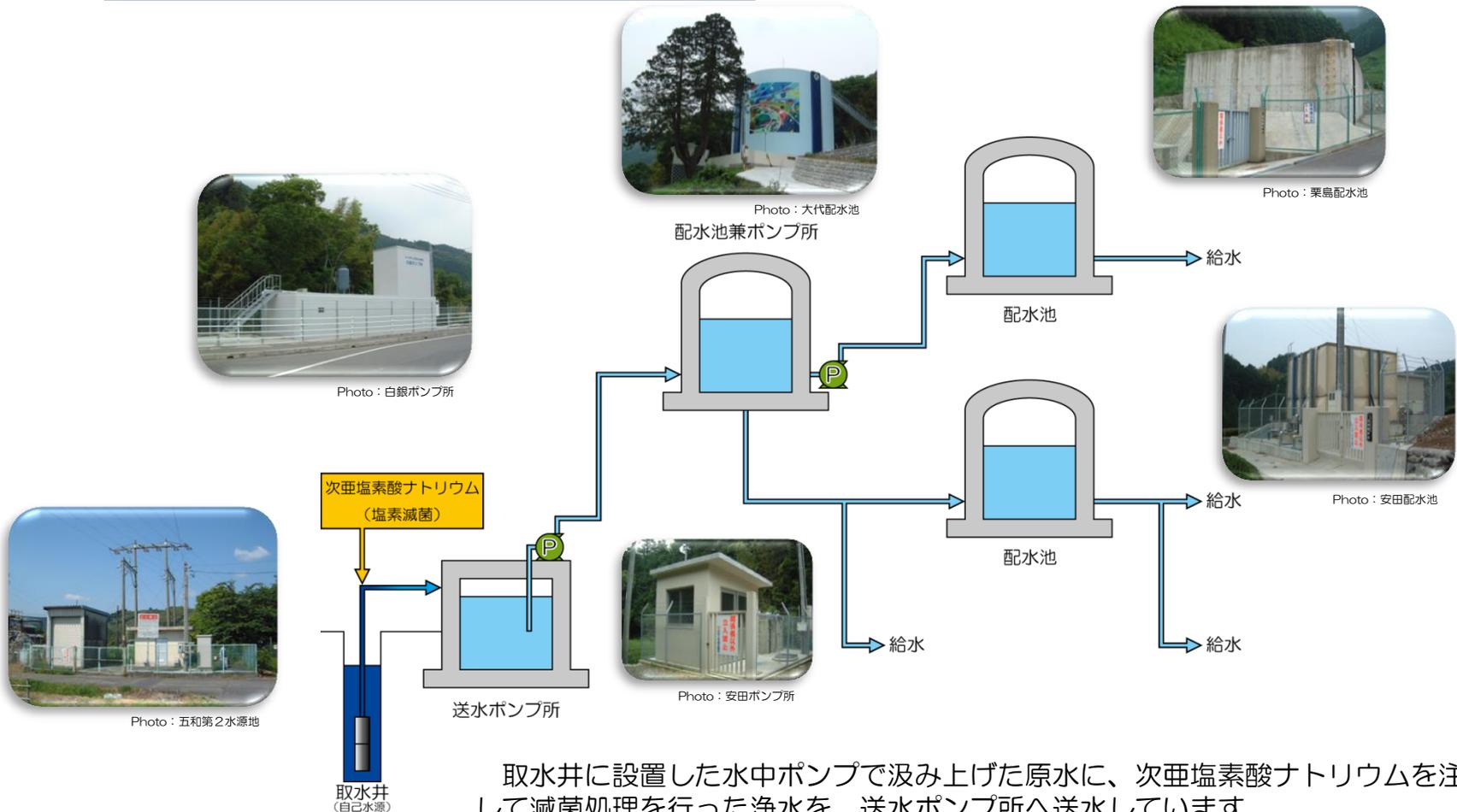


### 水道施設一覧

施設分類	施設数	
水源地	5	金谷水源地（1・2・3号井） 第3水源地 下坂水源地（1・2号井） 五和第2水源地 番生寺水源地
ポンプ所	8	金谷水源地ポンプ所 中継ポンプ所 猪土居配水池ポンプ所 白銀ポンプ所 栗島ポンプ所 安田ポンプ所 釜谷ポンプ所 城之壇ポンプ所
配水池	15	猪土居配水池 牧之原配水池 下坂配水池 金谷配水池 五和配水池 大沢配水池 等
管路延長	224km	Φ30mm～φ450mm
配水系統	5	大代配水池系 五和配水池系 下坂配水池系 牧之原配水池系 猪土居以南配水池系

(2) 給水（配水）フロー図

代表的な給水（配水）フロー図

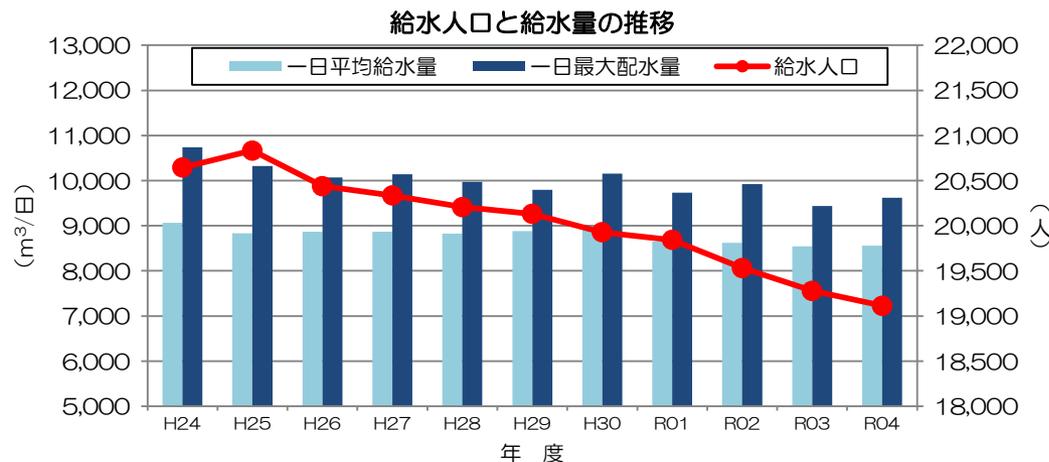


取水井に設置した水中ポンプで汲み上げた原水に、次亜塩素酸ナトリウムを注入して滅菌処理を行った浄水を、送水ポンプ所へ送水しています。

高台に設置した配水池兼ポンプ所に送水された浄水は、適正な水圧を確保するために、更なる高区へ送水される系統と、直接給水されている系統に分かれます。

### (3) 給水人口と給水量

項目\年度	H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R01 (2019)	R02 (2020)	R03 (2021)	R04 (2022)
給水人口 (人)	20,645	20,833	20,440	20,336	20,207	20,132	19,928	19,843	19,532	19,280	19,114
給水戸数 (戸)	7,469	7,591	7,651	7,672	7,673	7,723	7,805	7,848	7,879	7,885	7,954
有収水量 (m <sup>3</sup> /日)	7,175	7,133	7,134	7,056	7,097	7,140	7,136	7,010	7,072	6,982	6,950
一日平均給水量 (m <sup>3</sup> /日)	9,065	8,833	9,079	8,869	8,828	8,883	8,932	8,650	8,620	8,545	8,560
一日最大配水量 (m <sup>3</sup> /日)	10,737	10,326	10,073	10,138	9,974	9,796	10,152	9,736	9,926	9,441	9,617
有収率 (%)	79.2	80.7	78.6	79.6	80.4	80.4	79.9	81.0	82.0	81.7	81.2
有効率 (%)	84.1	85.8	83.6	84.5	85.4	85.5	85.0	86.2	87.2	86.7	86.2



給水人口と給水量の傾向

給水人口、給水量共に減少傾向を示しています。

## 2 水道料金について (口径13mm・2カ月で40m<sup>3</sup>使用時・税込)

### (1) 企業団料金表

(2カ月・税込)

口径	基本水量	基本料金	超過料金
13mm	16m <sup>3</sup>	1,650円	1立法メートルにつき 140.8円
20mm			
25mm		2,090円	
30mm	なし	3,300円	
40mm		4,400円	
50mm		5,664円	
75mm		11,000円	
100mm		71,500円	
150mm		85,800円	

### (2) 近隣市町の状況

(2カ月・税込)

事業者	基本水量	基本料金	超過料金	40m <sup>3</sup> 使用料金
牧之原市	20m <sup>3</sup>	3,520円	3,850円	7,370円
菊川市	16m <sup>3</sup>	2,514円	4,776円	7,290円
掛川市	16m <sup>3</sup>	2,200円	4,398円	6,598円
島田市	なし	2,090円	3,300円	5,390円
藤枝市	20m <sup>3</sup>	2,112円	2,816円	4,928円
吉田町	20m <sup>3</sup>	2,200円	2,332円	4,532円
企業団	16m <sup>3</sup>	1,650円	3,379円	5,029円

### (3) 県内の水道料金比較

順位	事業者	水道料金	順位	事業者	水道料金
1	牧之原市	7,370円	18	磐田市	5,165円
2	菊川市	7,290円	19	企業団	5,029円
3	南伊豆町	7,260円	20	伊東市	5,000円
4	河津町	7,040円	21	裾野市	4,950円
5	掛川市	6,598円	22	藤枝市	4,928円
6	袋井市	5,940円	23	函南町	4,620円
7	東伊豆町	5,698円	24	吉田町	4,532円
8	熱海市	5,585円	25	御殿場市	4,490円
9	湖西市	5,500円	26	三島市	4,380円
10	島田市	5,390円	27	西伊豆町	3,990円
11	御前崎市	5,390円	28	富士市	3,718円
12	森町	5,324円	29	富士宮市	3,630円
13	浜松市	5,302円	30	焼津市	3,564円
14	下田市	5,302円	31	伊豆の国市	3,388円
15	松崎町	5,264円	32	沼津市	3,220円
16	静岡市	5,214円	33	小山町	2,794円
17	伊豆市	5,190円	34	長泉町	2,310円

※令和5年4月現在  
(各事業者HPより)

静岡県平均

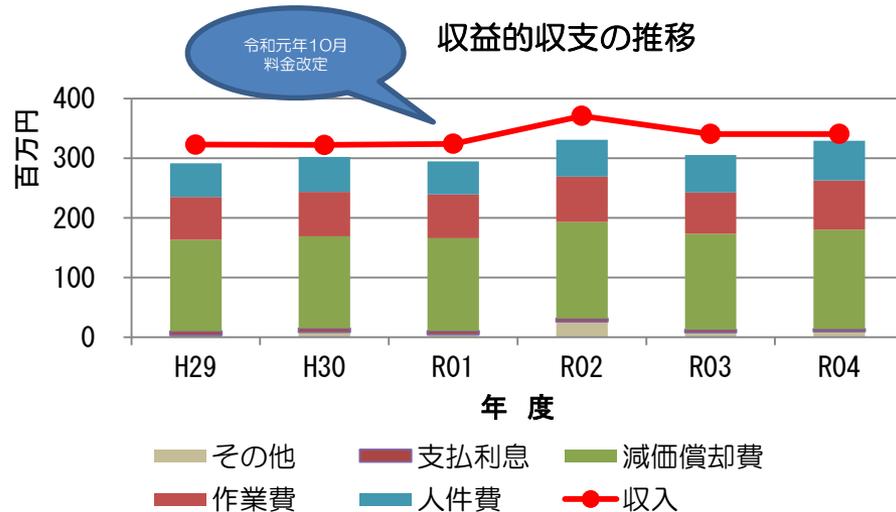
5,011円

### 3 財政状況について

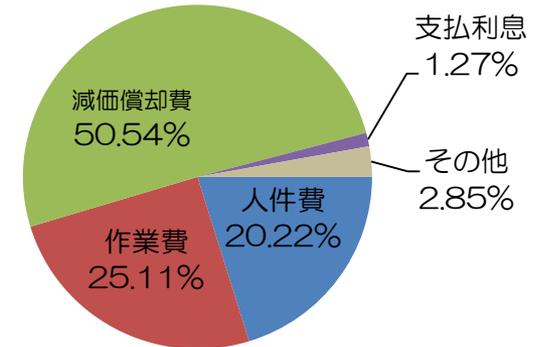
#### (1) 収益的収支※1

単位：円

種目\年度		H29	H30	R1	R2	R3	R4
収入	水道料金	297,537,000	297,392,000	302,422,000	323,377,000	319,505,000	318,185,000
	その他	25,345,000	24,712,000	21,758,000	47,483,000	20,946,000	22,318,000
	計	322,882,000	322,105,000	324,180,000	370,860,000	340,451,000	340,503,000
支出		290,974,000	302,064,000	294,913,000	330,896,000	305,555,000	329,322,000
収支差引(利益)		31,908,000	20,041,000	29,267,000	39,964,000	34,896,000	11,181,000
※うち営業利益		16,593,000	2,944,000	14,713,000	23,772,000	19,836,000	▲6,531,000
供給単価		114.17	114.18	117.88	124.89	125.38	125.42
給水原価		103.20	107.96	107.48	129.81	112.55	122.29
経常収支比率※2		110.97	106.63	109.92	112.08	111.42	103.40



#### 収益的支出内訳 2022(令和4)年度



※1 収益的収支：企業の経常的経営活動に伴って発生する収入とこれに対する支出

※2 作業費：動力費、薬品費、管路修繕費などの現場作業費や通信費、印刷製本費等の事務費などによる。

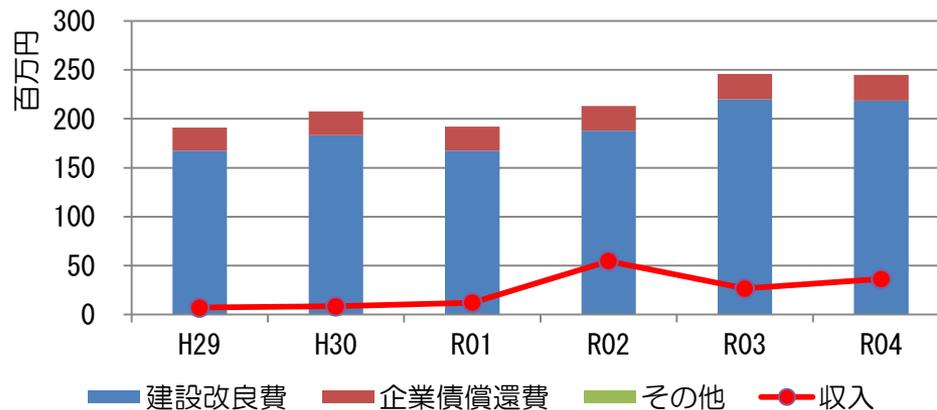
※3 経常収支比率：当該年度の収益で、維持管理費等の費用をどの程度賄えているかを示す指標で値が高いほど収益率が高く、数値が100%未満の場合、単年度の収支が赤字であることを示す。

## (2) 資本的収支※1

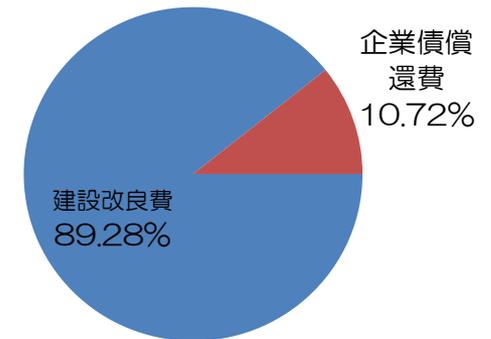
		H29	H30	R01	R02	R03	R04
収入	企業債	0	0	0	0	0	0
	その他	7,092,000	8,379,000	12,153,000	54,633,000	26,514,000	36,327,000
	計	7,092,000	8,379,000	12,153,000	54,633,000	26,514,000	36,327,000
支出	建設改良費	167,306,000	183,370,000	167,304,000	187,876,000	219,844,000	218,685,000
	企業債償還費	23,627,000	24,173,000	24,734,000	25,309,000	25,899,000	26,265,000
	その他	0	0	0	0	0	0
	計	190,933,000	207,543,000	192,038,000	213,185,000	245,743,000	244,950,000
収支差引		▲183,841,000	▲199,164,000	▲179,885,000	▲158,552,000	▲219,229,000	▲208,623,000
年度末内部留保※		386,310,000	361,425,000	366,604,000	426,706,000	409,060,000	384,080,000

年度末内部留保※はここでは建設投資に使用可能な内部留保資金額を言い、主に各年度発生した利益により積立てた各積立金をさし、公営企業では建設投資への用途の為に使用が制限されている

### 資本的収支の推移



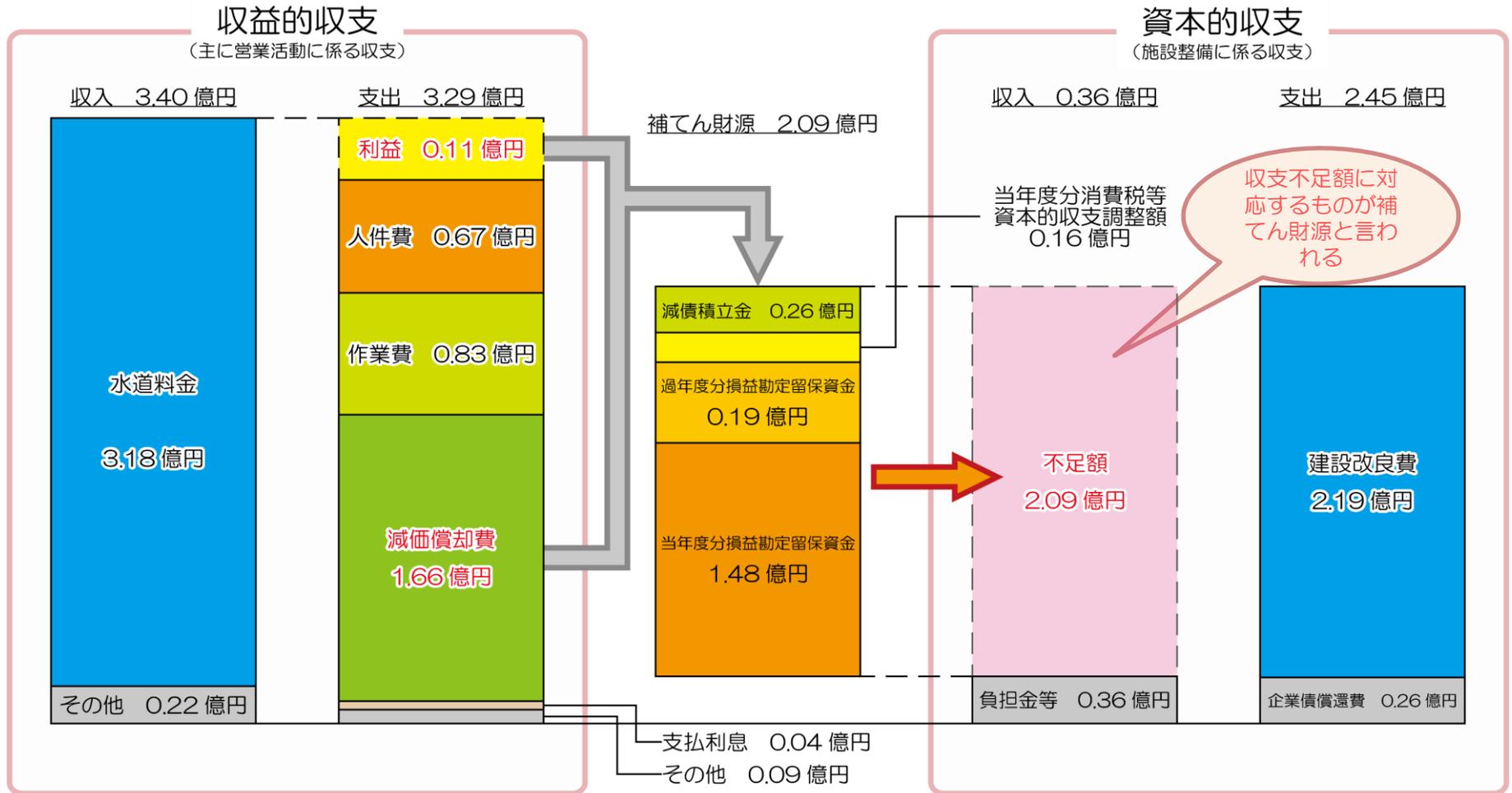
### 資本的支出内訳 令和4(2022)年度



※1 資本的収支：収益的収支に属さない収入・支出のうち、現金の収支を伴うもので、主に建設改良及び企業債に関する収入および支出

(3) 令和4(2022)年度財政収支の状況

R4年度期首 資本投資可能な内部留保資金額 4.09億円



R4年度期末 資本投資可能な内部留保資金額 3.84億円

## 4 水道事業の経営課題について

### (1) 大井上水道企業団水道事業の基本方針

基本計画及び経営戦略で定めた基本方針は以下のとおりである。

#### 安心で安全な水の供給

原水・浄水の適切な水質監視、管理により安心で安全な水道水の安定供給を目指す

- ・連続自動水質監視装置の適切な運用
- ・水質検査計画の現実に沿った策定及び運用

#### 強靱な水道

老朽化した施設の計画的な更新、耐震化により施設の健全性を保ち、災害に強い水道を目指す

- ・老朽化施設計画的な耐震化及び更新
- ・管路敷設水管布設替工事
- ・下坂水源地改築工事（令和4年度より着手）
- ・金谷水源地直送配水設備（令和5年度より着手）
- ・下坂配水池耐震化工事
- ・猪土居配水池管理棟改築工事

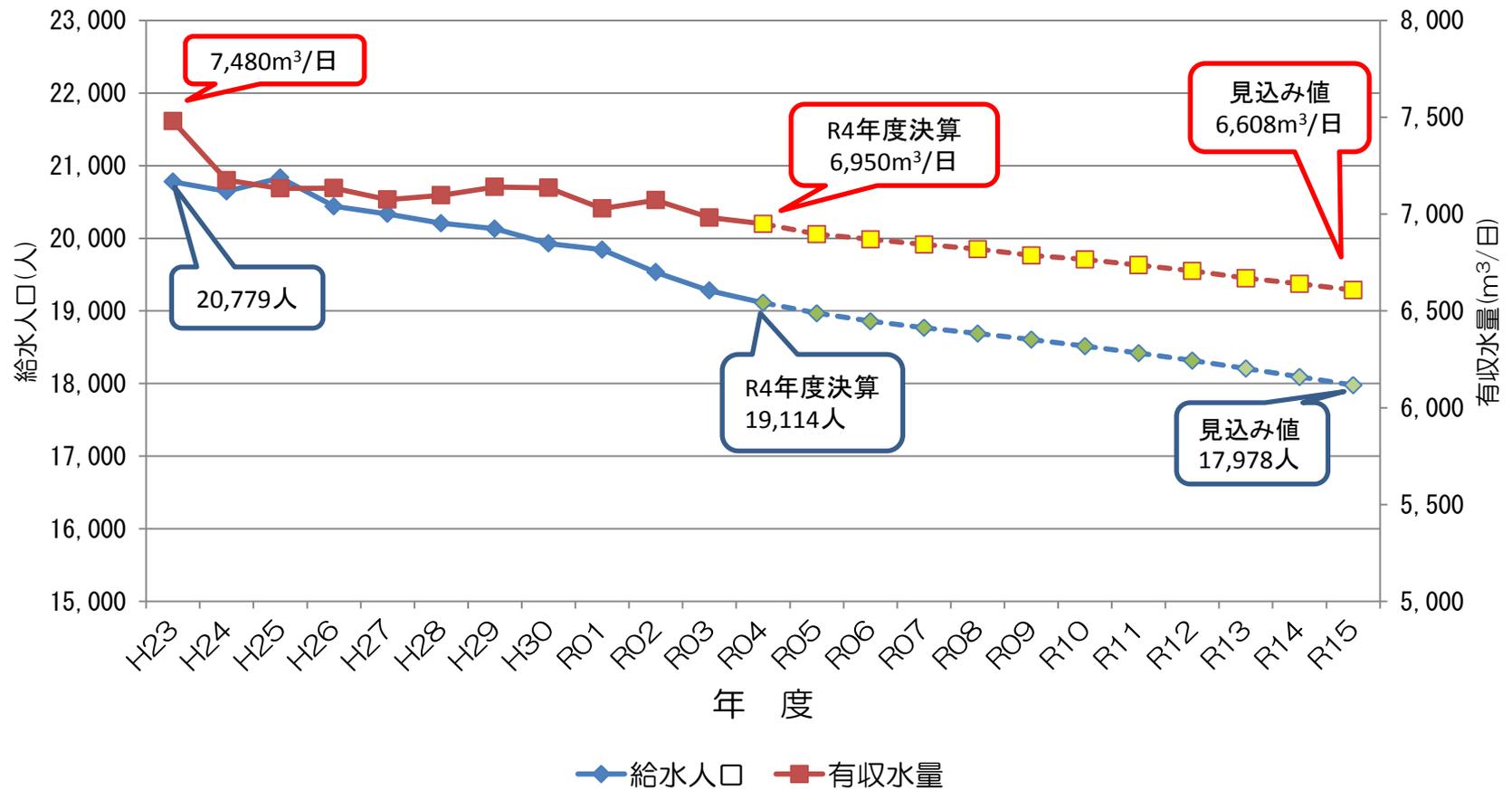
#### 水道サービスの持続

給水人口や給水量の減少に対応できる事業運営、水道技術の継承により、安全な水道水を安定的に供給することを目指す

- ・水道料金の適正化
- ・適正な内部留保資金の確保
- ・中長期的な経営計画
- ・職員の教育、研修の実施

(2) 将来の水需要予測

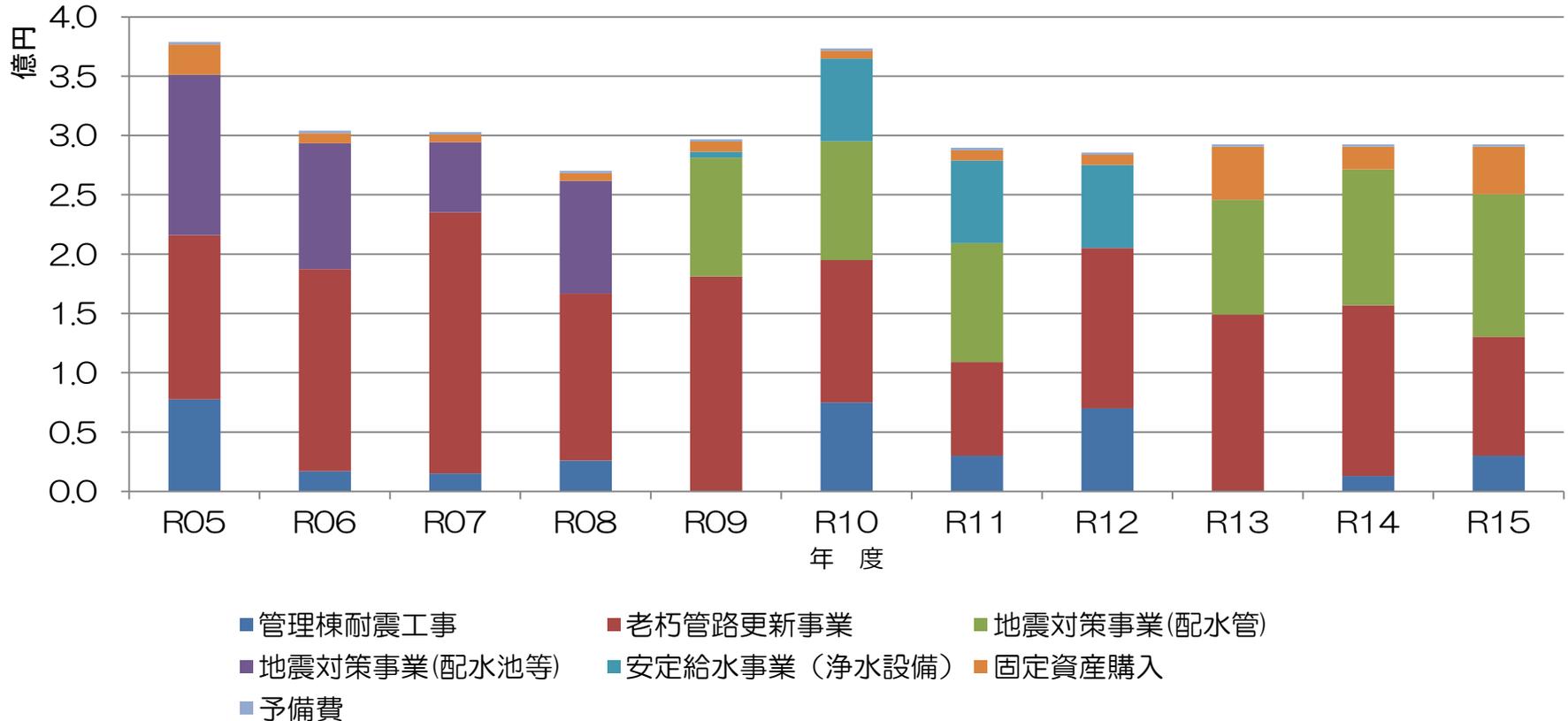
給水人口及び有収水量の予測値



給水人口減少に伴う水道使用量の減少により有収水量が減少傾向

### (3) 事業計画

基本計画の整備計画及びアセットマネジメント検討による整備費用は以下のとおりである。



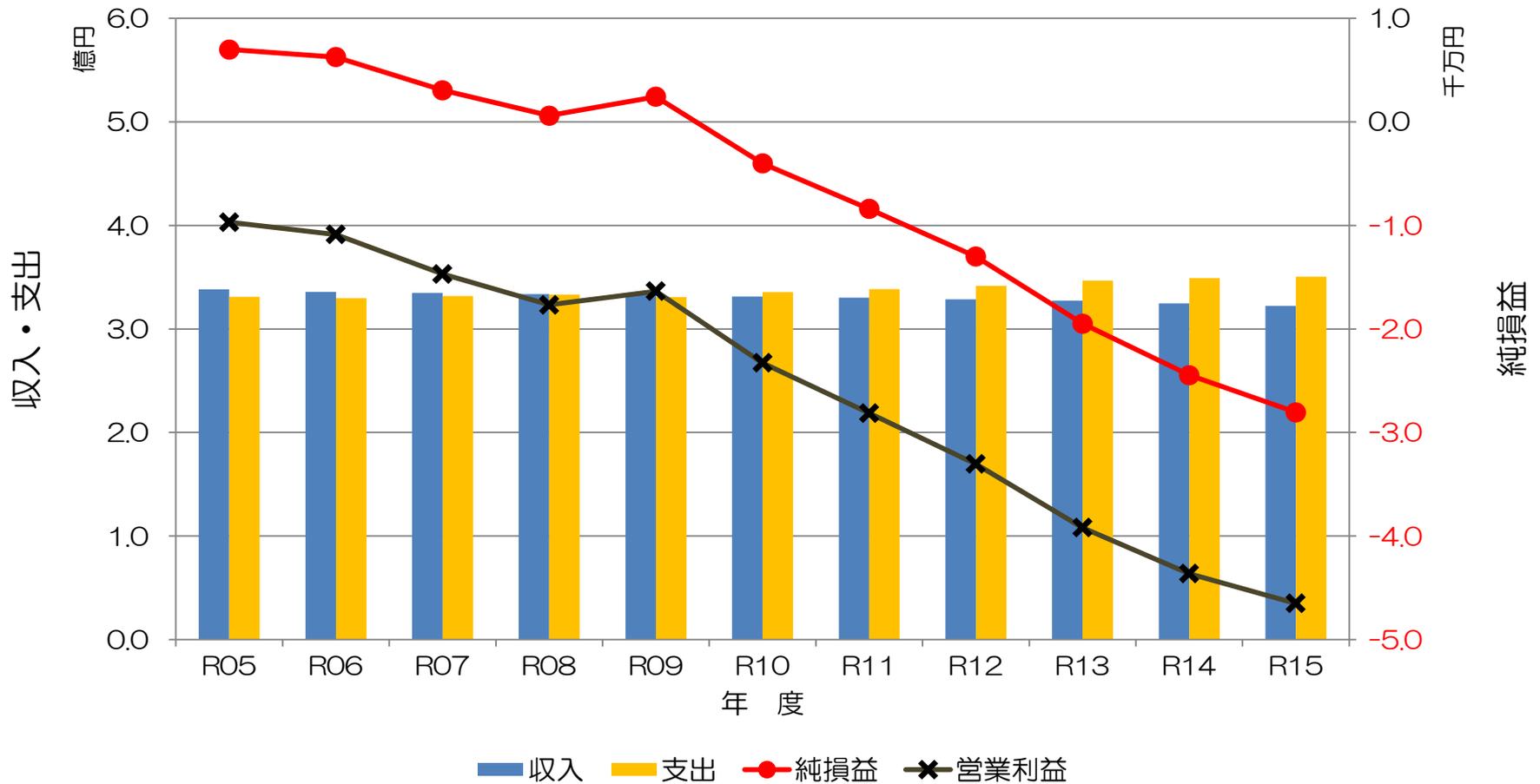
基本計画(建設改良費)：アセットマネジメント検討結果による管路更新費用

管理棟耐震化工事：(令和5年度下坂水源地改築工事、猪土居ポンプ所(R7~R8年度)等

地震対策事業(配水池等)：金谷水源地直送設備(令和5~6年度)、下坂配水池耐震補強(令和6~8年度)等

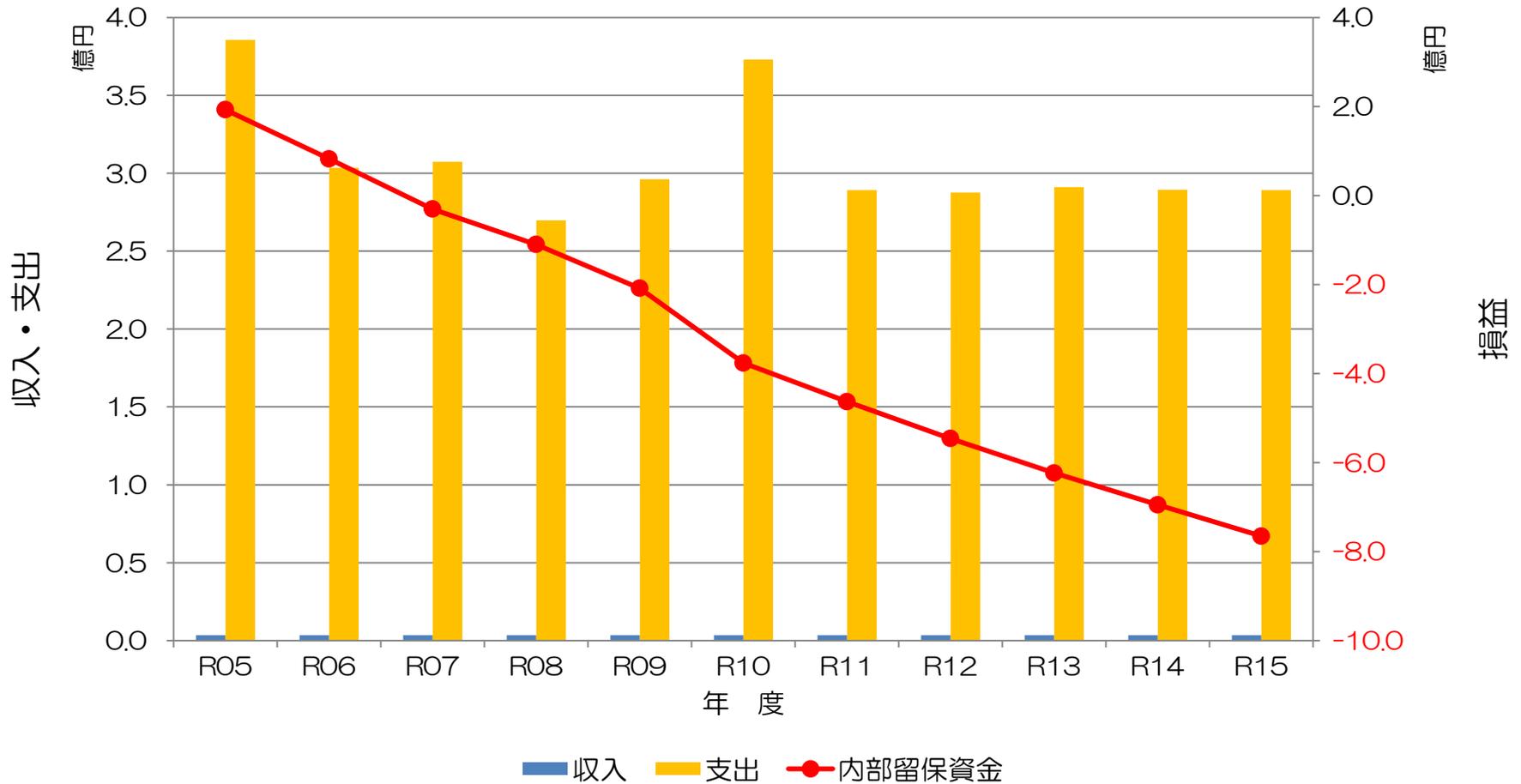
安定給水事業(浄水施設)：五和第2水源地紫外線設備(R9~R10年度)等

## 5 財政収支見通しについて (1) 収益的収支の見通し



減価償却費の増加、動力費等の高騰等により  
令和10年度より純損失を継続的に予想

## (2) 資本的収支の見通し



令和7年度には内部留保資金が枯渇すると予想される

## 6 大井上水道企業団水道事業の経営課題のまとめ

### 「ヒト・モノ・カネ」の視点

- ① ヒト
  - ・ 今後、増大する水道施設の更新需要に対応するための**人材確保**や**技術継承**といった課題があります。
- ② モノ
  - ・ 法定耐用年数（水道管路40年、水道施設60年）を経過した施設が今後増加するため、老朽化した施設を**計画的に更新**していく必要があります。
- ③ カネ
  - ・ 人口減少や節水器具の導入は、今後さらに加速するものと予想しています。これに伴い、**有収水量も減少する**と予測します。  
このため、**水道料金の減収**により水道事業経営への影響が懸念されます。